

わたしの おぎくぼ

発行:荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

防災フォーラム 2015

油断していませんか!



大災害!!



～もう一度、自分と地域を見直そう!～

開催日時:9月6日(日)午前10時～午後4時

会場:荻窪地域区民センター

参加費
無料

講演会

13:00～14:00

名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和伸夫氏



スタンプラリー

先着250名に
景品プレゼント!

コンサート

14:10～15:00

日本フィルハーモニー交響楽団(弦楽四重奏)

実演

11:00～12:00

中学生レスキュー隊模範演技

展示

防災備品・震災救援機材・災害時ガス復旧対策・
災害時給水地点マップ・災害時ペット相談など

体験

煙体験・初期消火訓練・AED使用訓練・災害伝言ダイヤル・
非常食の試食など

物産販売

被災地エコたわし販売(岩手県大槌町)
野菜・物産販売(新潟県小千谷市)



主催:荻窪地域区民センター協議会・西荻地域区民センター協議会

この街に
この人あり

ミツバチを育てることで 自然環境を守る



兼平 進さん

南荻窪の閑静な住宅地で、日本在来種のミツバチを飼育されている兼平 進(かねひら・すすむ)さんをお訪ねして、養蜂への思いや、地域の皆さんに伝えたいことなどを伺いました。

ミツバチを飼育している理由は？

自然界への懺悔とも言える気持ちです。今日まで私たちは、国土を破壊し汚染し、特に農業等でミツバチや昆虫類を殺傷し、受粉という行為で豊かな実りをもたらす自然界を、メチャクチャな状況にしてみました。

日本では、江戸時代までミツバチは野生のみで、明治時代に移動式養蜂が導入され、西洋ミツバチを輸入、農業生産を高めました。

最近世界中でミツバチの大量死が起これ、10年ほど前から日本ミツバチを巣箱で飼育する研究も進み、私も6年ほど前から保護・飼育・増殖活動をしています。



庭に置かれた巣箱

失敗談や、ご苦労などは？

ミツバチは暑さに弱く、巣箱で飼育するには、34度以上になると死んでしまいます。夜間も含め一定の温度管理が必要で、遮光やコーヒー袋で覆ったりしています。昨年は11箱まで増えた群も異常な暑さやダニ、農業等で今

春を迎えたのは、1群のみで、最悪でしたが、現在は蜂を増やすことに力を入れています。私たちは、依頼があれば屋根裏やお墓などに住みついた自然巣を保護し、飼育し、増やす活動をしています。活動資金のために少量の純粋蜂蜜も販売しています。

地域の皆さんに伝えたいことはありますか？

皆さまのお側にいる日本ミツバチを殺さないで、可愛がってください。コンクリートから土へ、塀から垣根に、緑豊かな街 荻窪にしましょう。日本ミツバチは、いじめなければ刺しません。花や樹木に極力農業を使わないでください。どうぞ、お子さま方、可愛いハチさんを見にお越しください。



自宅前の「ミツバチの会」案内板

(問い合わせ先：日本在来種ミツバチの会会員)

090-2658-2027

e-mail/meneki-labo@jcom.home.ne.jp

講座

エッセイを書いてみましょう

講師の佐々木欽三(ささき・きんぞう)さんは、長らくNHKディレクターとして活躍なさった方で、ラジオ時代からの豊富な経験を踏まえて、エッセイを書く秘訣を講義してくださいました。

受講者の提出した課題作品には、一作ずつ丁寧で的確な講評があり、皆さんが今後エッセイを書く上で大きな力になったようです。「講評を受けた後にもう一度書きなおし、さらに添削してもらいたかった」という声が多く寄せられるなど、大変熱のこもった講座でした。



佐々木欽三さん

5月13日から6月10日までの水曜日、4回にわたっての講座でした。50人余りの応募者の中から選ばれた30名が「私の好きな場所」または「幸せを感じる時」という課題のエッセイに挑戦しました。



講座風景

ぶらり街歩き

第3弾

今回は、荻窪駅から西北にある、戦国時代の名門今川氏ゆかりの観泉寺（今川2-16-1）を訪ねて、片道約30分の街歩きをしました。

荻窪駅前から青梅街道を西に歩いて、四面道の交差点を渡り、さらに西に行くと荻窪警察署があります。その角を右折して北上すると、区立桃井原っぱ公園があります。ここは戦時中、中島飛行機の工場があったところで、その後は日産荻窪工場になっていました。現在は、地域の人々の憩いの場、災害時の避難拠点になっています。

その先の荻窪病院、中大杉並高校を過ぎると、緑の木々に囲まれた観泉寺があります。

1645年、この付近一帯が徳川幕府より、今川氏13代直房に、所領として与えられました。現在の今川の地名はこれに由来します。直房は、当時下井草にあった観音寺を現在の地に移し、名を観泉寺と改めて、今川家の菩提寺としました。境内にある今川氏歴代の墓は、東京都の旧跡に指定されています。

観泉寺は静寂な森の中であって、鳥のさえずりを耳にすることができます。荻窪駅前と比べると、別世界の観があり、四季を通じて心休まる癒しの森です。



都日跡碑



観泉寺本堂

第37回 荻窪センター祭

来て!

見て!

体験して!

楽しもう!!

移動プラネタリウムなどを楽しむ

7月18日(土)・19日(日)の2日間、荻窪地域区民センターにおいて“来て! 見て! 体験して! 楽しもう!!”をスローガンに荻窪センター祭が開催されました。

猛暑にもかかわらず、約1,600名の方々が来場されました。連休中のため小さなお子さん連れのご家族が大変目立ちました。屋外では即売会、各種模擬店も設けられ、地下2階体育室には「移動プラネタリウム」を設置し、楽しい投影会をしました。また作品展示、芸能発表、子ども工作教室などが大変好評でした。ご来場の皆様、出店していただいた団体の皆様、ご協力ありがとうございました。



移動プラネタリウム



シップス(バンド演奏)



小千谷(産直販売)



松溪中プラスバンド(吹奏楽)



杉並土建による工作教室



フラワーサークル アリス



シルバー人材センターのファッションショー



ゴンゾー(gonzo)(どじょうすくい)



和太鼓・龍

講座のご案内

※長寿応援対象事業(75歳以上)

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
自分の一句を残しましょう	今回も俳句の実作に取り組みます。句会形式です。互いの句を鑑賞し、評価し合うことができます。良い句を詠み、良い句に出会う喜びを味わいましょう。／林 誠司(「俳句界」編集長)	9月3日・10日・17日・24日 (各木曜日) 午後1時30分～3時30分	20名	200円	8月23日(日)
認知症予防のノウハウ	正しい生活で認知症は防げる。頭と体の体操、バランスのとれた食事を学びます。／東京衛生病院 仲本桂子先生	9月9日・16日 (各水曜日) 午後1時30分～3時30分	30名	200円	8月23日(日)
ストレッチ&リズム体操	音楽に合わせて体を動かし、普段使っていない筋肉を伸ばしましょう。／後藤鈴香(健康保健指導士)	10月7日・14日・21日・28日 (各水曜日) 午前9時30分～11時30分	30名	200円	9月20日(日)
いきいき朗読教室	小説や童話から受けた感動を、感情を込めた読みで聞き手に伝える。そんなドラマティックな朗読を実践的に学びます。／岡 摂子(放送表現教育センター講師)	10月8日・15日・22日・29日 (各木曜日) 午後1時30分～3時30分	30名	320円	9月20日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④性別 ⑤年齢 ⑥電話番号を明記のうえ 〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 ※申し込み多数の場合は抽選です。

荻窪まちづくり会議 ～多様な意見を積み重ねて～ <レポート3>

杉並区が平成24年3月に策定した基本構想では、荻窪駅周辺まちづくりの重要性があげられています。こうしたなか、荻窪駅周辺をより魅力的で住みよいまちとしていくため、荻窪駅周辺の町会・商店会等の地域団体に所属するメンバーが集まり、荻窪駅から概ね半径500m内の地域の人たちに問いかね、住民からの希望者を募って、「荻窪まちづくり会議」がつけられました。そこで「自分達の住む荻窪のまちは、どんなまちがいいのだろうか?」と意見を出し合い議論を重ねて2年1カ月、いよいよまとめに入りました。その前に「地域住民の意見は?」を問うため、これまで検討してきた内容をまとめた「荻窪駅周辺地区まちづくり構想(案)」に対する意見をアンケートにて地域の全所帯に広く求めます。ご協力ください。なお、皆様の回答は、反映されるよう引き続き会議でまとめていきます。



荻窪まちづくり通信

荻窪まちづくり会議副代表 松葉 襄

郷土博物館分館企画展・区民参加型展示 問い合わせ: ☎5347-9801

分館企画展・区民参加型展示(西棟1・2階)

杉並区戦後70年事業「戦争を語り継ぐ」

今年は戦後70年の節目をむかえます。当館では戦時下の様子を地図や年表を通して、戦災状況や軍事施設として徴用された時の学校や企業などを紹介し、また学童集団疎開について収蔵資料から見ていきます。また「杉並シナリオワークショップ」による戦中の中島飛行機東京工場にまつわる朗読劇やその創作工程なども紹介します。

【開催期間】1階展示室 区民参加型展示:7月11日(土)～9月6日(日)

2階展示室 分館企画展:7月4日(土)～8月30日(日)

【展示解説】8月15日(土) 午前10時～11時

申込不要/参加費無料/解説:当館展示担当学芸員

【朗読会】8月2日(日) 午前10時～11時

読物:あまみきこ「ちいちゃんのかげおくり」

向田邦子「字のない葉書」

朗読:能島昭子(日本朗読文化協会所属) 歌:黄金の手Reina

申込不要/参加費無料/対象:小学生～大人まで

【朗読劇】8月30日(日) 午前10時～12時

演目:朗読劇「杉並物語2 あけぼの杉の下で—中島飛行機物語—」

朗読:眞船道朗、丸山ひでみ、首藤健祐(東京ハートプレイカース)

即興音楽:松浦美佳

申込方法:往復はがき(住所:〒167-0032 天沼3-23-1 天沼弁天池公園内へ)又はFAX(5347-9802へ)

申込締切:8月18日(火)必着

①朗読劇/②〒住所/③氏名(フリガナ)/④年齢/⑤電話番号を記入の上お申し込みください。

定員:40名(抽選)/参加費無料

夏休み子どもイベント(東棟1階)

竹とんぼをつくってあそぼう!

竹とんぼについて学び、色をぬったり、飛ばしながら、楽しく遊ぼう!

【開催期間】8月23日(日) 午前10時～12時

申込不要/定員:先着30名/参加費100円

対象:小学生(小学3年生までは保護者同伴)

場所:東棟1階休憩コーナー

実施団体:NPO法人すぎなみムーサ

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

■委員会の日程

8月25日(火) 13:00～ 会場:第1・2集会室

9月29日(火) 13:00～ 会場:第1・2集会室

※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

【共通】

- ・場 所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
- ・開館時間:9時～17時
- ・休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- ・観 覧 料:無料
- ・問 合 せ:電話03-5347-9801